



裏山の緑が愉しめる2階のダイニングルームでは、ホームエレベーターがシンプルなインテリアの一部となっている

T様邸

T-SAMA RESIDENCE

生活動線や行動範囲に最大限配慮した ミニマル・デザインのリフォーム

「ご主人から、結婚にあたり実家をリフォームしたいという設計依頼があった」と株式会社ラフトの角南 公淑氏。「下肢に障がいのある奥様が、一人でも何不自由なく家事や生活ができるようにシミュレーションを繰り返した。障がいがあるといっても各人で異なり、使い勝手や寸法体系も違う。バリアフリー住宅の解を求めるのではなく、目の前の個人との関わり合いの中から、実感を頼りに設計を進めた」と語る。車いすでの移動に配慮し、2階との移動のために省スペースのホームエレベーターを採用。1階には洗面・トイレの

あるユーティリティスペースと浴室が設けられ、主寝室と玄関からアクセスできるように回遊動線が確保されている。

裏山の緑が愉しめるように設けられた大開口が印象的な2階は、バルコニーを備えたダイニングと光あふれるリビング空間。天井を「あらわし」とすることで、建物の記憶を遺しつつ、白を基調としたシンプルなインテリアで、1階のアクアハートバス、洗面ともにホワイトが採用されている。「実家では行動に制限があり気持ちも消極的でしたが、新居では不自由なく日常生活が送られて生活の質も向上しました。まさにストレスフリーです」と奥様は笑顔で語る。



T様邸

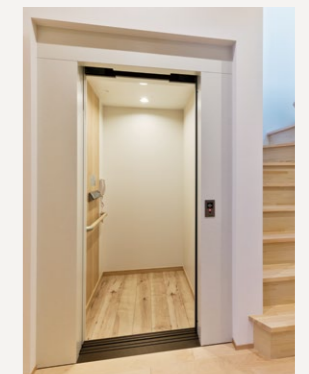
所在地 / 京都市
 設計 / 株式会社ラフト
 施工 / 株式会社ケイ・アイ・エス
 竣工 / 2017年12月



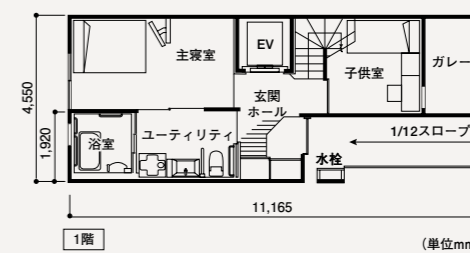
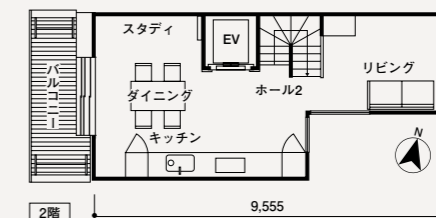
トイレ、洗面のユーティリティと浴室が一体になった空間は左の引戸で玄関ホールとつながる



“福祉”を感じさせないデザインと奥様に好評なバス



玄関ホールとデザインを合わせたエレベーター内の木質床(ペリティス)



主な設備

- アクアハートバス(1616) 移乗台×2
- アクアハート洗面(750) サイドキャビネット(150)
- アラウーノ
- ホームエレベーター「1414ミディモダンV」